

令和8年2月12日
北海道開発局

第2回釧路港国際クルーズ船二次交通強化検討会を開催

～地元主体による二次交通運行体制の検討～

釧路港では、クルーズ下船後に乗客が利用する二次交通の運行体制を検討するため、関係機関や地元交通事業者とともに「釧路港国際クルーズ船二次交通強化検討会」を設立し、令和7年10月にシャトルバス（観光タイプバス及び路線タイプバスを活用）の実証運行を実施しました。このたび、実証運行の成果報告とともに、今後の効率的な運行体制を検証するため、下記のとおり検討会を開催します。

「釧路港国際クルーズ船二次交通強化検討会」の詳細は別紙のとおり。

記

1 開催日時 令和8年2月19日（木） 13:30～15:30

2 開催場所 釧路市生涯学習センターまなぼっと幣舞 会議室801号
(北海道釧路市幣舞町4-28)

3 その他

- ・報道関係の方は会場での傍聴が可能です。
- ・傍聴は実証運行の成果報告までとさせていただきます。
- ・希望される方は、2月16日（月）17時までに、以下の取材申込み先へ【所属（会社名）、ご氏名、ご連絡先（電話番号）】をご連絡ください。
- ・当日は開催時刻の10分前まで直接会場にお越しください。

【取材申込先】 hkd-ky-kouwanho.jo1-81e@gxb.mlit.go.jp（港湾計画課あて）

【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 電話（代表）011-709-2311

港湾空港部 港湾計画課 港湾企画官 柴田 裕基（内線5612）

港湾空港部 港湾計画課 上席専門官 小葉松 和也（内線5615）

北海道開発局ホームページ <https://www.hkd.mlit.go.jp/>



釧路港国際クルーズ船二次交通強化検討会

～現状・課題の認識や二次交通強化に向けた検討内容～

別紙

現状・課題

- ・釧路港では、運転者の不足等から営業区域内だけではバスの確保が難しい状況にあり、クルーズ船寄港時の二次輸送不足により、乗客の満足度低下や経済効果拡大の機会損失に繋がっている状況。
- ・大型クルーズ船が入港時に、大型船の受入可能な西港区第4埠頭埠頭に接岸するが、市街地から遠いため、観光地を周遊するバスとは別に、旅客を市街地に輸送するバスが別途必要。
- ・このため、地域内で所有するバスを有効活用し、クルーズ船寄港のバス需要へ対応を図っていく必要がある。

実施内容

- ・検討会の議論等を踏まえ、地元主体の運行体制により「シャトル輸送（西港～市街地）」の実証運行を実施・検証
- ・タクシーや鉄道も含む二次輸送強化に向けた方策を検討

実証運行



検討会の構成メンバー

